

にぎ

7月号

2023
Vol.189



神秘的な白蓮～安芸城址～

撮影 地域医療連携室 武正 和也



CONTENTS

- ② 就任のご挨拶
- ③ 就任のご挨拶／そうだ!ホスピタルアートを、めぐろう!!
- ④ 新任医師のご紹介
- ⑦ 地域医療センター職員のご挨拶
- ⑧ 初期臨床研修医のご紹介
- ⑩ 総合診療科の役割と地域医療連携
- ⑫ イベントのご紹介/information

就任の



統括調整監 兼 事務局長 **やまじ のぶよ**
山地 展代

令和5年4月1日付で統括調整監兼事務局長を拝命いたしました。

就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

令和2年4月に新型コロナウイルス感染症の県内第1波の最中に県から着任してからの3年間は事務局次長として主に新型コロナウイルス感染症関係の院内調整や県との調整役を務めてまいりました。着任当時、院内は日々増え続ける入院患者さんへの対応で大変な状況でした。病院現場で働いた事のない私でしたが、前任の職場では国からのマスクや手指消毒用アルコールの配分などの業務に携わっておりましたので、次々と起こる新しい困難な状況に何とか対応出来たと感じています。

これまで新型コロナウイルス感染症の感染状況は波として表現されてきました。高知医療センターの陽性患者さんの受入状況は、第1波から第5波までは本当に波

のように最後には入院患者さん全員が退院され、院内も少し落ち着きが戻っていました。ところが、第6波からは高さは違えど津波のような波が絶え間なく押し寄せてくる感じで、令和3年12月29日から現在(令和5年5月17日)まで1度も入院患者さんは0になっていません。それでも、5月8日に新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたので、当院では感染対策センターを中心に院内のコロナ対応を変更し面会を再開いたしました。

このような状況の中、統括調整監として6局(医療局、看護局、薬剤局、医療技術局、栄養局、事務局)の調整役を担いながら、事務局長として職員管理や業務委託等々円滑な病院運営を支える役割を担うこととなり、重責に身の引き締まる思いです。

現在、医師の働き方改革、公立病院経営強化プランの策定など取り組まねばならないことが山積しています。

高知医療センターの理念である「**医療の主人公は患者さん**」実現のため、**地域医療連携を基本とした自治体病院としての役割を果たすと共に経営健全化に取り組んでまいります。**

日々勉強する事ばかりでまだまだ未熟でございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



じゅうまん けいこ
栄養局長 十萬 敬子

この度、令和5年4月1日付けで栄養局長に就任いたしました。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

私は、管理栄養士として採用され、高知県立中央病院を経て開院時より高知医療センターで勤めてまいりました。高知県立中央病院では、当院の開院の準備にも携わってきました。

当時の栄養業務は、主に栄養事務室で行い、病棟には栄養食事指導や食事の聞き取り等の際に出向く状況でした。そのような状況から、新しい病院では病棟常駐

の栄養管理を目指して当時の栄養局長のもとで取り組んでまいりました。当時を振り返ると、これからの管理栄養士の未来にワクワクしていたことを思い出します。

開院から19年目に入り、医療における栄養管理への注目度は高まり、診療報酬も大きく変わりました。スタッフもさまざまな専門認定を取得して、活躍の場が広がり、病棟常駐も当たり前になりました。

栄養局の理念は、『**県民・市民の健康づくりのために、患者さんに喜ばれる食事提供とチーム医療による栄養サポートなど、栄養ケアサービスの実践**』です。

栄養療法は全ての病気の基盤となるため、さまざまな病態と治療、それに伴う病状や臨床データを日々モニタリングし、ベッドサイドで食欲や食事量の把握とともに、専門的な視点で分析、評価をして適切な栄養介入を行っています。また外来やがんセンター、患者支援センターにおいても、栄養サポートを行い、患者さんの病気回復、健康維持に繋がるよう努めています。

今後も患者さんの栄養管理に精一杯取り組んでいくとともに、スタッフ一人ひとりがやりがいをもって働くことができる職場づくりにも努めていきたいと思っています。

これからも栄養局をどうぞよろしくお願いいたします。

ご挨拶



令和5年4月1日より、田中聡局長の後任として、薬剤局長に就きました。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

薬剤局では開院当初より『見える臨床薬剤師』を目指して、全病棟フロアに薬剤師を配置し、“より信頼され、より親しまれる薬学ケアサービスを実践する”ために業務に取り組んできました。開院当初は薬剤師も21人と少ないなか、調剤業務を行いながら病棟常駐を行い服薬指導も行う多忙な日々でした。現在では当たり前になっているチーム医療が不十分ななかでも、担当薬剤師は救命救急センターや、担当病棟の診療科カンファレンスに積極的に参加し、また薬剤局としてがん専門薬剤師育成など研修施設として研修生の受け入れも行うなど、薬剤師が病院内外で活躍・認識されるよう取り組みを行ってきました。

昨今、病院における薬剤師の必要性がより認識され、従来のカンファレンスに加え、感染対策、栄養サポート、緩和ケア、せん妄リエゾン、褥瘡対策、術後疼痛管理、入退院支援などさまざまなチーム医療への参画も行い、個々の患者さんに適した処方提案や治療計画立案、副

くもん とよ 薬剤局長 公文 登代

作用防止など医薬品の安全管理に深く関わるまでになりました。

病院における薬剤師業務の多様化と業務量の増加とともに、薬剤師も少しずつ増員され、昨年には33人となり、薬剤管理指導に加え病棟薬剤業務実施も開始することができました。薬学部がない高知県でいかに病院薬剤師を確保していくか課題もありますが、高知医療センターが患者さんに提供する医療において、薬剤局職員一同“最善の薬学ケアサービスを実践する”よう務め、地域の皆さんの期待に応えていきたいと考えています。これからも何とぞご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

※薬剤局理念
“臨床薬剤師”として、人に社会に貢献できる薬学ケアサービスを実践する”

そうだ！

ホスピタルアートをめぐるう!!

当院のホスピタルアートは「患者さんが主人公の病院」というテーマに基づき、患者さんの立場に立ち、患者さんを勇気付け励ますことのできるアートワークをめざしました。地域に根ざした病院として高知らしさを追求し、高知出身や在住、地域の特徴を生かした表現のできるアーティストを選定し、存在しつづけることによりその場に根付き、普遍性を持つ作品になり、建築とアートが響き合う相乗効果による豊かな医療環境の創出を行いました。



タイトル: アンサンブル Ensemble

作家 フォルム: すけなりまさのり 祐成政徳
アブレーション(表面の仕上げ材): いいはる 石井春

タイトルのアンサンブルとは、「二人の作家」・「医療センターと作品」・「建築と作品」・「環境と作品」・「人と作品」などの調和を意味しています。

円は古今東西の文明で太陽や月、和を象徴するなど、人間の深層心理に深く浸透しポジティブな影響を与える形態で、ベンチの形態は空間に調和と存在感を与え、患者さんはじめ、病院を訪れる人々が座って触れて体感できるアートベンチとして、親しみやすい印象で、訪れる人々を歓迎しています。

(アブレーションは本場ポルトガルでこのためだけにオリジナル制作され、既成のタイルには絶対のない色の深みと、手作り感があります。)

写真・情報提供: アートプレイス株式会社 撮影: 大野 繁



新任医師のご紹介

よろしくお願いします

令和5年

4/1 着任 Introduction of new face

新しく正職員になりました。

専攻医から正職員になりました。



耳鼻咽喉科医長

ながお あすか
長尾 明日香

高知大学医学部附属病院より着任いたしました。食べること、お酒を飲むこと、楽しく喋ることが大好きで、嚥下障害と音声障害を中心に診療・研究してまいりました。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



脳神経外科医長

まつおか としき
松岡 賢樹

3年ぶりに、高知医療センターへ帰ってまいりました。脳血管障害や頭部外傷などを中心に、再び高知県の脳疾患治療に貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



神経内科副医長

いけだ たつや
池田 達也

4月から週1回ですが神経内科外来を担当することとなりました。3月までは当院の総合診療科に所属しておりましたので、引き続きにはなりますが、専門的な疾患に限らず総合的な視点も持ちながら診療させていただこうと考えています。今後ともよろしくお申し上げます。



放射線科副医長

いちき じゅんや
市木 純哉

初めての高知ですが、暖かく、食べ物が美味しく感動しています。カテーテルでの治療や画像診断を通して高知県の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



血液内科・輸血科副医長

いりよし ひろき
入吉 宏紀

高知県内のへき地医療に従事しており、こちらには週1日非常勤で勤めていました。ひとまず1年間だけが常勤となりました。まだまだ血液内科は勉強中ではございますが、一生懸命頑張ります。多くの患者さんの紹介をお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。



小児科副医長

おち もとはる
越智 元春

岡山県から高知にやって来ました越智元春と申します。高知県の子どもたちが健やかに過ごせるように小児科医として診療にあたっていきます。よろしくお願いいたします。



整形外科副医長

きんたか けいすけ
金高 圭甫

岡山から来ました。高知はとってもいいところで気に入っています。趣味はサッカーです。医師10年目になりました。膝関節や一般整形を担当します。患者さんにも医療スタッフにも優しい医師を目指します。



産科副医長

なかざわ あやか
中澤 彩花

これまで高知の中山間地域で内科医として勤務してまいりましたが、今年度一年間を産婦人科で勤務することになりました。高知の女性診療の一助となれるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



整形外科副医長

ひろせ かずき
廣瀬 一樹

このたび岡山県から高知医療センターに着任しました整形外科の廣瀬一樹と申します。早く仕事に慣れて高知県の医療に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



脳神経外科副医長

やまさき だいち
山崎 大智

1年間、土佐市立土佐市民病院での勤務の後、再度着任いたしました。患者さんにご家族が安心して治療を受けられるように尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。





精神科・児童精神科副医長

よしもと やすたか
吉本 康高

この4月からこちらでは月2回、児童精神科部門の外来診療を担当し、高知県立幡多けんみん病院と兼務しております。引き続きよろしくお願いたします。



血液内科・輸血科

いのうえ ゆうすけ
井上 湧介

専攻医から正職員になりました。昨年度に引き続き血液内科で勤務させていただきます。微力ながらも一生懸命がんばりますので、高知県の医療に貢献できれば幸いです。



放射線科

おさき まりな
尾崎 マリナ

高知大学医学部附属病院より着任いたしました。まだまだトレーニング中ですが、高知県に少しでも貢献できるよう精進してまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがよろしくお願いたします。



泌尿器科

くいのせ あや
杭ノ瀬 彩

4月に専攻医から正職員になりました。患者さん一人ひとりに寄り添ってより良い医療が提供できるよう精一杯頑張りますので、これからよろしくお願いたします。



精神科

たかぎ いおり
高木 衣織

4月から常勤医となりました。高知県の医療に少しでも貢献できるように、日々頑張っていきたいと思っております。至らない点多々あるかと思いますが、今後ともよろしくお願いたします。



放射線科

とがみ こうき
砥上 幸樹

高知大学医学部附属病院から着任いたしました。放射線科医としては3年目になります。まだまだ修行中の身ですが、画像診断を通して診療業務に貢献できるよう日々精進してまいります。



産婦人科

なんば たかおみ
難波 孝臣

昨年度までは専攻医として当院にて産婦人科診療に関わらせていただき、今年度からは正職員として気持ちを新たに診療に邁進してまいります。お気軽にご相談いただけたらと思っております。これからもよろしくお願いたします。



救命救急科

ふりはた たえこ
降幡 多栄子

4月に専攻医から正職員となりました。引き続き救命救急科で高知県の医療に貢献できるよう精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いたします。



消化器外科・一般外科

ますなが あかり
益永 あかり

4月より専攻医から正職員になりました。引き続き消化器外科医として、地域の皆さまのお役に立てるよう、日々精進いたしますので、今後ともよろしくお願いたします。



総合診療科

みやもと だいち
宮本 大地

1年間高知県の佐川町高北国民健康保険病院で勤務し、戻ってきました。病気のことでお困りのことがあれば、どのようなことでも構いませんのでお気軽にご相談いただければと思います。



総合診療科

やの あきひこ
矢野 彰彦

今年度より正職員として着任いたしました。患者さん一人ひとりの状態や要望に真摯に向き合い丁寧な診療を行う事を心がけます。ご指導のほどよろしくお願申し上げます。



整形外科

やまもと てつや
山本 哲也

日本赤十字社岡山赤十字病院より着任しました。骨のこと関節のこと筋肉のこと、何でもご相談ください。高知のことは、まだまだ知らないことが多く優しく教えていただければ幸いです。





消化器内科

ふるかわ ゆき え
古川 雪愛

昨年までの初期臨床研修を修了し今年度より消化器内科専攻医となりました。至らぬ点もあるかとは思いますが、精一杯努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど何とぞよろしくお願いいたします。



消化器外科・一般外科

つねみつ りょうすけ
常光 良介

2年間の初期臨床研修に続き4月から、こちらの消化器外科・一般外科で専攻医として勤務することになりました。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



産婦人科

わかつき しん や
若槻 真也

当院での初期臨床研修を経て、4月から産婦人科の専攻医となりました。産科・婦人科ともに貢献できるように、より一層精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



小児科

おぎ まもる
尾木 護

高知大学医学部附属病院の小児科より着任いたしました。高知県の小児医療に貢献できるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



小児科

つるい りゅうもん
釣井 龍門

本年度より再び勤務させていただくこととなりました。初期臨床研修医としてお世話になった高知医療センターに小児科専攻医として戻ってこられたことをうれしく感じております。今後ともよろしくお願いいたします。



救命救急科

つるい さい か
釣井 採香

1年間沖縄県立南部こども医療センターで研修し、当院へ戻ってまいりました。懐かしさと新鮮さを感じつつ、救命救急科専攻医として日々精進していきたいと思っておりますので何とぞよろしくお願いいたします。



血液内科・輸血科

まつもと けん
松本 顕

一年ぶりに戻ってまいりました。血液内科・輸血科で専攻医として勤務いたします。高知の皆さまのお役に立てるよう努力してまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。



救命救急科

あさば すなお
浅羽 直

この4月から救命救急科の専攻医となりました。一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



総合診療科

わたなべ しんいちろう
渡部 伸一朗

高知県にきて8年目となります。高知県の方々には大変感謝しております。その気持ちを忘れることなく診療を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。



心臓血管外科

しまだ ゆうじ
島田 ゆうじ

滋賀医科大学医学部附属病院より着任いたしました。初めての土地で不慣れなことも多いですが、少しでも高知県の医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



精神科

やまもと だいすけ
山本 大介

4月に着任いたしました。高知県の精神科医療に少しでも貢献できるように精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



麻酔科

いとう ふみたけ
伊藤 史剛

患者さんが安心して手術を受けられるように、最新の注意を払い麻酔の提供に精一杯尽力いたします。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



地域医療センター職員のご挨拶



地域医療センター
副センター長 **いの 輝彦**

令和5年4月1日付けで地域医療センター副センター長として高知県庁から派遣で参りました。

県庁に入庁して以来、これまで、さまざまな職場で勤務してきました。県立病院を所管する職場にいたこともあります。その頃は県立病院が5つ(中央、安芸、芸陽、西南、宿毛)あり、経

理を担当していた私はお金の計算に大変苦労した記憶があります。

私は高知で生まれ育ち、高校を卒業すると「高知なんて何にもないので、都会へ行きたい」と、県外の大学へ進学し、卒業後もしばらく高知に帰らずにいました。しかし、都会で暮らすと嫌なところが目につきます。どこに行っても人、人、人。何をしても金、金、金。人とのつながりも薄くって……。高知を離れて、高知の良いところに気が付きました。食べ物はおいしいし、自然の中でのんびりできるし。で、帰ってきました。

その大好きな高知で、私も含めて県民みんなが安心して暮らしていくための医療に携わることができることをありがたく感じています。

地域の医療機関の皆さまとの連携を密にし、患者さんに切れ目のない医療を提供できるよう、地域医療センターの役割を果たしていきたいと考えていますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



地域医療連携室長 **はしもと めぐみ**

日頃は、当院の地域医療連携室業務にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

令和5年4月1日付けで、地域医療センター地域医療連携室へ異動してまいりました。

高知医療センターでの勤務は、平成17年3月の開院前後の5年間と、今回が二度目です。開院前は人事・給与制度構築

の諸準備を、開院後は職員採用など事務部門を担当し、当時は時間に追われる毎日であったと記憶しています。

地域医療連携室は、医療機関連携、紹介患者さんの受診予約、医療福祉相談などのまごころ窓口業務、登録医、地域連携に係る広報などの業務を行っております。4月以降、日々の業務を通して、地域医療連携室は「病院の顔」とあるという思いを強くするとともに、職務の重要性を実感しています。

今後、患者さんの思いに寄り添った切れ目のない療養生活を支えていくためには、医療連携だけでなく介護・福祉・保健も含めた、より一層顔の見える連携が重要です。私自身も地域医療連携に関する知識を深め、一つひとつの関わりを大切に、コミュニケーションの輪を広げていきたいと考えております。

これまで、高知医療センターが地域の関係機関の皆さまと築いてきたつながりを大切にしながら、皆さまから気軽に相談いただける、頼れる「連携室」となれますよう、患者支援センターとも協働し、取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



患者支援センター
看護科長 **ほそかわ えつみ**

4月より患者支援センターの看護科長となりました。一般フロアでの勤務経験後、地域医療連携室の看護師として6年間勤務してきました。

本年度より、地域医療連携室の看護師と患者支援センター

の看護師が一体化し患者支援センター入退院支援職員となっており、入院前より介入を開始する入退院支援看護師と入院後の退院支援、転院調整を行う退院支援職員とに分かれています。退院困難な要因のある患者さんに対し入院早期に介入を開始、患者さん・ご家族の思いを傾聴し、寄り添いながら一人一人に適した退院支援調整を行っていきます。

新型コロナウイルス感染症の流行により、ここ数年地域の方々との交流会も開催をする事が出来ませんでした。5月の連休明けより新型コロナウイルスも5類に分類され、人々の往来も以前の状況を取り戻しつつあります。本年度は地域交流会の再開を検討しており、ぜひ地域の皆さまにご参加いただき有意義な意見交換の場となればと考えています。

今後も地域の皆さまとの連携を図り患者さんご家族にとって、よりよい入退院支援を行ってまいります。患者さんの情報共有・相談等についてはいつでもご連絡・ご相談いただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

令和5年度 初期臨床研修医のご紹介



医科 15名

おかむら かりな
岡村 香里奈

今年度より初期研修医として入職いたしました。常に思いやりを持った、信頼される医師になれるよう日々努力してまいります。至らぬ点もあるかと思いますが、精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



おさき しゅんすけ
尾崎 俊介

患者さん一人ひとりに真剣に向き合い、少しでもお力になれるように日々精進してまいります。まだまだ未熟でご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



かまだ しほ
鎌田 栞穂

周囲の方々や患者さんやそのご家族、地域の方々、そして周囲の医療スタッフの方々にも、より多くの笑顔届けられる医師を目指して、明るく元気に日々精進してまいります。至らぬ点多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



くぼた たいが
久保田 大賀

初めてのことばかりでご迷惑をおかけすることが多いかと思いますが、日々多くのことを吸収し、少しでも早く活躍できるように頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



こみ みなみ
古味 みなみ

患者さんに信頼される医師になるための知識と技術を身に付けられるよう頑張ります。素直に積極的に学ぶ姿勢を大切に励んでまいりますので、2年間ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



たむら ゆうや
田村 優弥

早く一人前に成長して患者さんに還元できるよう、精一杯頑張っていきます。至らない点もたくさんあるかと思いますが、見守っていただけると嬉しいです。2年間よろしくお願いいたします。



なか お まあや
中尾 真綾

初めてのことばかりでご迷惑をおかけすることも多くあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



のなみ けいた
野並 溪太

患者さん、医療スタッフの方々から信頼される医師となれるよう、日々精進してまいります。至らぬ点多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



ふじい ななこ
藤井 渚々子

患者さんに寄り添う、誠実な医師を目指して日々精進してまいります。研修医という期間を活かして積極的に、できることを一つひとつ増やしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



みちはら たまき
道原 環

患者さんやご家族の気持ちに寄り添うことのできる医師を目指して日々精進してまいります。至らぬ点も多々あると思っておりますが、初心を忘れず頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



もりさわ かずえ
森澤 一恵

2年と短い間ですが、患者さんやご家族に信頼していただける医者になって少しでも地域の医療に貢献できるよう努力していきたいと思っておりますので、厳しめにご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



もりた けんすけ
森田 健介

患者さんや医療スタッフの方々から信頼される医師を目指して、日々精進していきたいと思っております。至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思っておりますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



やすだ もえか
安田 萌華

患者さんやスタッフの皆さんから信頼される医師を目指して日々努力していきます。分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



やまもと がく
山本 岳

私は患者さんや医療従事者の皆さまに信頼していただける医師になりたいと考えています。向上心を持ち続け、積極的に学びます。精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



よしもと ふうこ
義本 風子

患者さんやご家族に信頼していただける医師になれるよう、日々多くのことを吸収し成長していきたいと思っております。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。



歯科 1名

いそだ ゆうき
磯田 悠貴

分からないことがたくさんありますが、高知医療センターでの臨床研修で多くのことを学び、吸収できるように精一杯頑張りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



令和6年度 初期臨床研修医募集要項

- 募集人数
医科 12名+自治医科大学卒業者枠3名
歯科 管理型2(1年コース)1名
管理型3(2年コース)1名
- 選考方法
面接・書類審査・小論文・成績証明書
- 選考日
令和5年8/1(火)・8/24(木) 【医科】
令和5年9/5(火) 【医科】【歯科】
- 応募資格
令和6年2月に実施される医師、歯科医師国家試験に合格する見込みの者
(マッチングに参加要)

- 応募方法
書類提出
(履歴書・健康診断票・成績証明書・卒業(見込み)証明書)
※歯科のみ(自己紹介を兼ねた自分の将来像についての作文)
- 応募締切
各選考日の一週間前(必着)
※詳細はホームページにて確認ください

<https://www2.khsc.or.jp/saiyou/recruit/re1/re1-4/re1-4-1/re1-4-1-2/>



総合診療科の役割と 地域医療連携

総合診療科長 石井 隆之 いしい たかゆき



「何科を受診したら良いのか分からない」「希望の科がない」など、医療が高度化、専門化し、病院が機能分化してきたために、そのようにいわれる患者さんが増えてきました。また地域の医師不足により、地域におられる先生方が疲弊する事態にもなっているようです。そのような状況から国も率先して、総合診療医の育成に力を入れています。

私達、総合診療医も総合診療科としての役割を、考えていかななくてはなりません。コロナ禍で受診控えが続いた結果、総合診療科で重篤な病気が不意に見つかるということも多くなっています。また高齢化に伴う多様なニーズにも対応していかななくてはならないと思っています。

『7つの柱』を意識

1. Common disease=よく診る病気の診療 (一般内科的診断 1次 2次医療)

まずは、かかりつけの先生を受診していただきたい疾患についてです。必要があれば、かかりつけ医より紹介していただき、大きな病気や特殊な病気が隠れてないか診察します。

総合診療科で診察し、治療の目途がたてば、極力かかりつけの先生にお願いし、地域に戻って頂くように連携を取っていきます。

2. 科がわからない患者さんの診療 (診断力=総合診療医ドクターG力)

大きな病院に行きたいけれど、受診する科が分からないといった場合になります。そのような時はまず私たち総合診療科医が診察をし、できる範囲で診断をつけていきます。また各科の専門医の助言をもらうことも多くあります。私達が勉強していかななくてははいけない分野です。

3. 科がまたがっている患者さんの診療 (マネージメント力)

疾患が色々ある場合には患者さん自身がどうしたらいいのか、わからなくなっていることがあります。そのような時も院内の各専門医とも相談をし、適切な科にかかれるようお手伝いをしています。

4. 適切な科を決める力 (トリアージ力)

病気がわかった際には、各専門医の先生に、コンサルトさせていただきます。

5. 地域医療、離島医療

われわれ総合診療科内には、長年にわたって高知県の地域医療を支えてきた医師が複数在籍しています。また、定期的に地域の病院に医師を派遣しています。そこで培われたノウハウを活かして診療しています。

地域高齢化が進んでいる昨今、地域医療を助け、高度医療が必要な患者さんには高知医療センターを受診していただき、早期に地域医療機関へとお返しする。これは地域を知っているからこそできる医療だと思っています。

6. 各科の先生との連携

主に救命救急科から、急性期治療が落ち着いた患者さんを総合診療科に転科し、必要な内科的治療の継続や、転院・退院調整をしています。

7. 医学生や研修医の教育

教育病院としての役目は、総合診療専門医や総合内科専門医を増やす努力と、地域の病院で信頼され、必要とされる人



材を育てることだと思っています。

総合診療科は比較的新しくできた科です。専門医は専門性が高まりますが、その対極に総合診療医がいます。総合診療医と専門医がうまく連携していければ、専門医の困っているところを補える科になれるのではないかと思います。

しかしその反面、利便性がいいために「なんでも科」になりやすく、疲弊しやすく、守備範囲が広い分、「中途半端科」になりやすく、なくてもいいのではないかと思います。総合診療医としてのモチベーションを保ちづらくなりやすいです。総合診療医として常に自分自身も学び、向上心を持って行動することが大切だと思っています。

これからの総合診療科

高知県の高齢者数の割合は、今から17年後の令和22年には40%を越えるといわれています。令和7年に団塊の世代が75歳以上になると、一気に高齢者が増えます。

多くの人は終末期を自宅で過ごしたいと思っても、家族に迷惑をかけたくないから、体が不自由になった場合は、病院で見て欲しいという人が大半です。国は医療費が高む状況を打破しようと、在宅ケアを増やし病院の病床数を減らし、医療費を減らそうとしています。

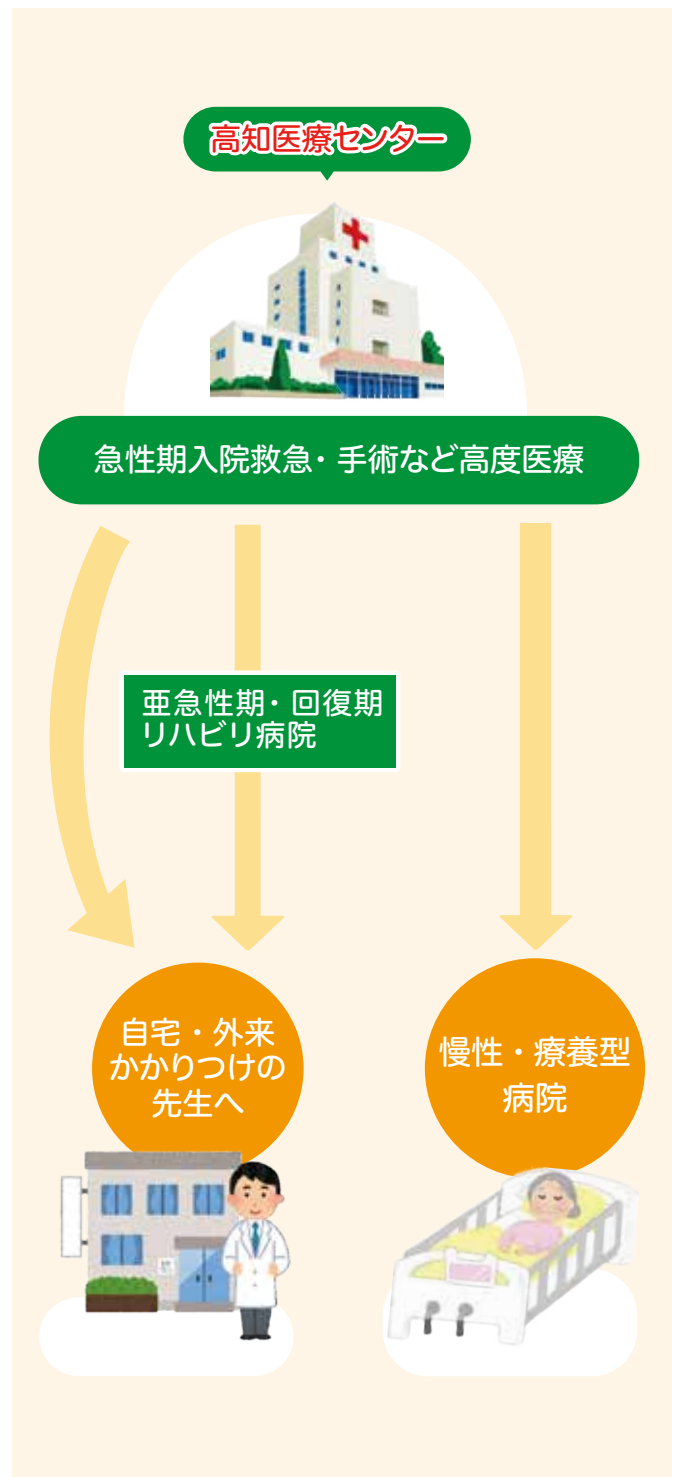
そんな中でも、患者さんは「治るまで医療センターにずっと居たい」と言われます。若い患者さんは病気になっても、手術をしても比較的すぐに良くなり退院される方が多いですが、高齢者はそうもいきません。しかし、いつまでも高度急性期病院に入院していると、退院できない高齢者でいっぱいになります。本当に高度急性期病院に入院が必要な人が、入院できなくなるのです。『でも、入院してたいのだから・・・こんな状態で自宅に帰されても困る・・・』では、どうするか。

病院は機能分けがあり、『一般』・『医療療養』・『介護療養』・『地域包括ケア』・『回復期リハビリテーション』・『緩和ケア』に分かれます。それぞれが専門分野の患者さんを診療することにより、高度急性期病院は高度医療や手術に特化したことができます。

そのためには地域の実情を知らなくてはなりません。高知市内には比較的病院がたくさんあります。中心部から少し離れた高知医療センターはドクターヘリの運用もあり、県内外の遠く離れたところから患者さんが搬送されてくることも多いです。その時々地域の実情を知ることにより、患者さんの状

況に沿った医療を提供できると考えています。また地域の先生と我々が顔の見える関係であることで、患者さんをご紹介していただき、急性期が過ぎた後に逆紹介させていただき、かかりつけの病院に戻っていただくことができると考えています。

総合診療科はまだまだ発展途上です。患者さんにとっても、地域の先生にとっても至らない点が多いかも知れませんが、患者さんに寄り添いながら良質な医療を提供していきたいと思っています。



～イベント情報～

第65回高知医療センター 地域医療連携研修会

あらためて考えたい地域医療連携のかたち
～あなたの理解が地域医療をまもる?!～

7月8日(土) 13:30～16:00
オーテピア高知図書館 4階ホール

参加費 無 事前申し込み 無

対象者 どなたでも(定員80名)

産科 ●渡邊理史 ●西村裕之
消化器外科・
一般外科 ●稲田涼
救命救急科長 ●盛賞篤史
整形外科 ●山川泰明

お問い合わせ先
地域医療連携室 担当:猪野
e-mail: renkei@khsc.or.jp

他施設公開研修

心のケア1 精神症状のアセスメント

7月19日(水) 17:30～19:00
高知医療センター 2階
くろしおホール(オンライン研修)

参加費 無 事前申し込み 有 締切7/5(水)

対象者 看護師(10名) ※学生は高知県立大学学生のみ

●岡村邦弘精神科
認定看護師

お問い合わせ先
看護局教育担当
Tel.088-837-3000(代)
e-mail: kango_kyouiku
@khsc.or.jp

地域がん診療連携拠点病院 公開講座

「前立腺がんの診断、治療」・「乳がんについて」・
「泌尿器がん、婦人科がんの発症リスクが上がる
遺伝性疾患：リンチ症候群について」
「がん診療におけるハートフルチームの役割」

7月22日(土) 14:00～16:30
ゆすはら・夢・未来館 大ホール
(高岡郡梶原町梶原 1426番2)

参加費 無 事前申し込み 無 対象者 一般・
医療従事者

泌尿器科副医長 乳腺中・
外科副医長 ●森田陽 ●吉岡遼
消化器外科 一般外科医長 心臓血管外科長
●吉岡貴裕 ●大上賢祐

お問い合わせ先
経営企画課
Tel.088-837-3000(代)

第40回中国四国臨床臓器移植研究会 「日本泌尿器科学会専門医教育研修単位」認定 (参加単位1単位)

「慢性腎臓病療養指導看護師
(CKDLN)ポイント取得対象地地方会」認定

8月19日(土) 13:00～17:00(予定)
高知会館 高知市本町5-6-42
Tel.088-823-7123

参加費 有2,000円 事前申し込み 無 対象者 医師・
看護師

お問い合わせ先
高知医療センター・澁谷・堀見
email: tyushi-rinzo40
@khsc.or.jp

他施設公開研修

心のケア2 ①不安・抑うつ状態の
患者の看護

8月23日(水) 17:30～19:00
高知医療センター 2階
くろしおホール(オンライン研修)

参加費 無 事前申し込み 有 締切8/9(水)

対象者 看護師(10名) ※学生は高知県立大学学生のみ

●岡村邦弘精神科
認定看護師

お問い合わせ先
看護局教育担当
Tel.088-837-3000(代)
e-mail: kango_kyouiku
@khsc.or.jp

他施設公開研修

心のケア2 ②怒り、攻撃性の高い
患者の看護

9月13日(水) 17:30～19:00
高知医療センター 2階
くろしおホール(オンライン研修)

参加費 無 事前申し込み 有 締切9/7(木)

対象者 看護師(10名) ※学生は高知県立大学学生のみ

●岡村邦弘精神科
認定看護師

お問い合わせ先
看護局教育担当
Tel.088-837-3000(代)
e-mail: kango_kyouiku
@khsc.or.jp



information

～診療予約・診療受付～



※イベント情報はホームページもご覧下さい。

外来診療時間 午前 8:30～12:00 午後 1:00～4:30 (土・日・祝日・年末年始は休診)

一般の方から各種お問い合わせ TEL 088-837-3000 (代)

地域医療連携通信「にじ」に関するご要望・ご意見は[renkei@khsc.or.jp]までお寄せ下さい。

にじ 2023年7月号(第189号)

発行: 令和5年7月1日

編集者: 地域医療連携室

発行者: 小野 憲昭

印刷: 株式会社高陽堂印刷



地域医療センター 公式 LINE

発行元: 高知県・高知市病院企業団立

高知医療センター

〒781-8555 高知県高知市池 2125-1

TEL 088(837)3000(代)



高知医療センターホームページ
https://www2.khsc.or.jp

くろしお君#1.#2